

■ お手入れ方法

間違っただお手入れ方法や保管方法は本製品の寿命を縮めます。使用後や保管時は以下の点を参考にしてください。

- 使用後は、泥汚れなどをあらかじめ水洗いし、陰干して乾燥後に収納してください。汚れたまま、あるいは濡れたまま長時間放置するとカビの発生する可能性があり、また生地も劣化しやすくなります。
- ドライクリーニングや洗濯機による洗濯はできません。
- ポールやペグは汚れを濡れたタオルで拭き取った後、機械油を薄く塗ってください。
- ジッパーの動きが固くなりましたら、別売のスムーズライダー™やローソクの口を塗ると回復します。

■ 保管方法

- 本製品を長期間使用せずに保管する場合は、なるべくゆるくたたみ、風通しの良い場所に保管してください。
- 透明窓は本体からはずし、しわにならないように保管してください。
- 火のそばや暖房器具のそばなどの高温になる所に置かないでください。変形や損傷の原因になります。

■ 廃棄方法

- 廃棄方法はお住まいの自治体の収集方法に従ってください。

■ アフターサービス

お買い求めいただきました本製品は万全を期して製造しておりますが、万一不備な点がございましたら、お買い求めいただいた販売店、もしくは下記の弊社窓口までご連絡ください。

製造上の欠陥による不具合の場合は無償で交換させていただきます。なお、修理、交換等の要否につきましては、弊社の裁量にて判断させていただきます。

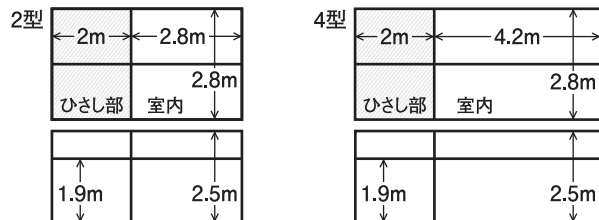
なお、以下のような原因での破損、不良につきましては保証いたしませんのでご了承ください。

- 本製品の誤った使用方法によるもの
- 間違っただお手入れ、保管方法、経年変化による素材劣化
- 乱暴な取り扱いによるもの
- その他、製造上の欠陥以外の原因によるもの

破損時は弊社にて診断をして、修理が可能な場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

■ 仕様・サイズ

○ 寸法



○ 素材

品番 : 1122633 / 1122634
品名 : フィールドキャビン 2型 / フィールドキャビン 4型
サイズ : (2型) 幅2.8m×奥行き2.8m×高さ2.5m (4型) 幅2.8m×奥行き4.2m×高さ2.5m
素材 : (ポール、ジョイント) スチール [粉体塗装] (側幕) ポリエステル (フロア、屋根、スカート) P.V.C.ターポリン

■ その他

本製品の仕様、デザインは予告なく変更されることがあります。また、重量などのスペックには誤差が生じる場合があります。

株式会社 **モンベル** 本社 〒550-0013 大阪市西区新町2-2-2 Tel. 06-6531-3544 フリーコール: ☎ 0088-22-0031
商品についてのお問い合わせはカスタマー・サービスまで モンベルホームページ <http://www.montbell.jp>

mont·bell

取扱説明書

フィールドキャビン

Field Cabin

この度はお買いあげいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書(以下「本説明書」といいます)は本製品の正しい取扱方法を説明しています。ご使用前に本説明書をよくお読みいただき、正しい使用方法をご確認ください。

なお、ご不明な点等ございましたら、販売店もしくは(株)モンベル カスタマー・サービスまでお問い合わせください。本説明書は大切に保管してください。

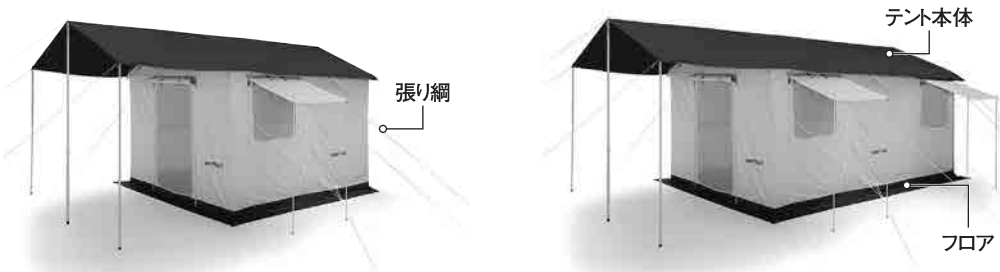
■ 特長

大人数でのキャンプや長期滞在に最適な大型テントです。

■ 各部の名称

2型

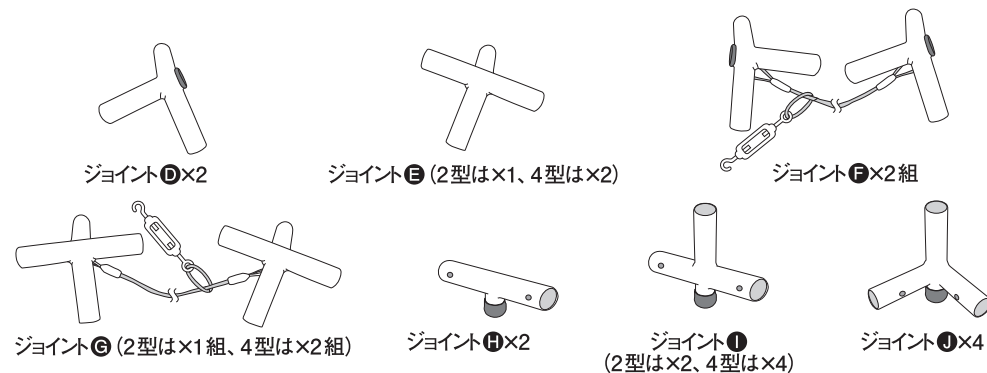
4型



- ・テント本体×1
- ・フロア×1
- ・張り綱(2型は×10、4型は×12)
- ・ペグ(2型は×17本、4型は×21本)
- ・収納袋(2型は×4:本体用1、フロア用1、ポール用1、ペグ用1)(4型は×5:本体用1、フロア用1、ポール用2、ペグ用1)
- ・パーテーション×1(4型のみ)
- ・本説明書×1

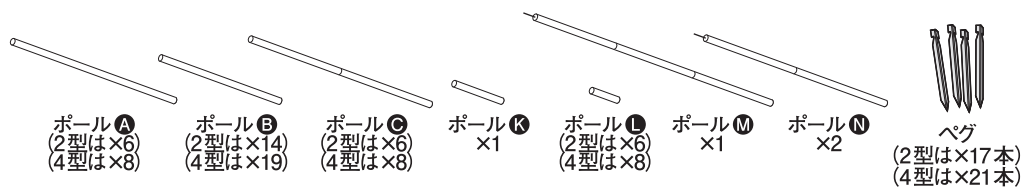
ジョイントパーツ

※各ジョイントパーツにはそれぞれのアルファベットが記載されたシールが貼られています。



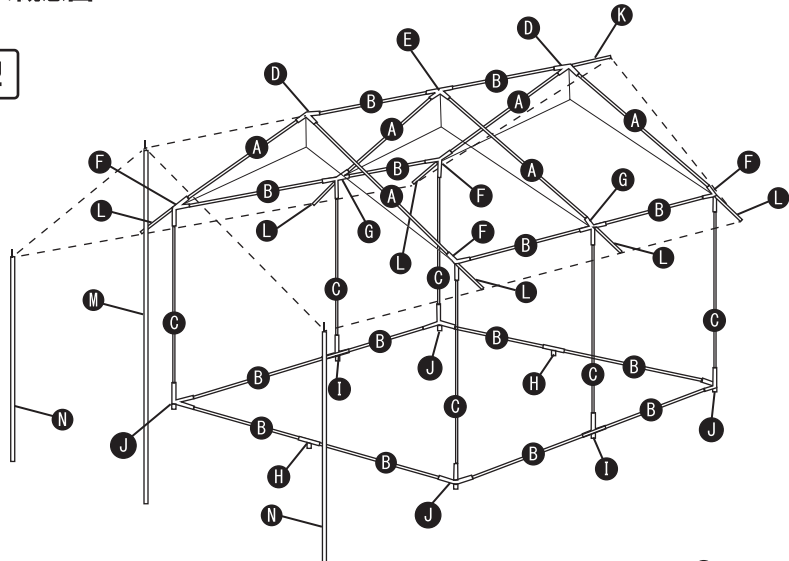
ポール

※各ポールにはそれぞれのアルファベットが記載されたシールが貼られています。

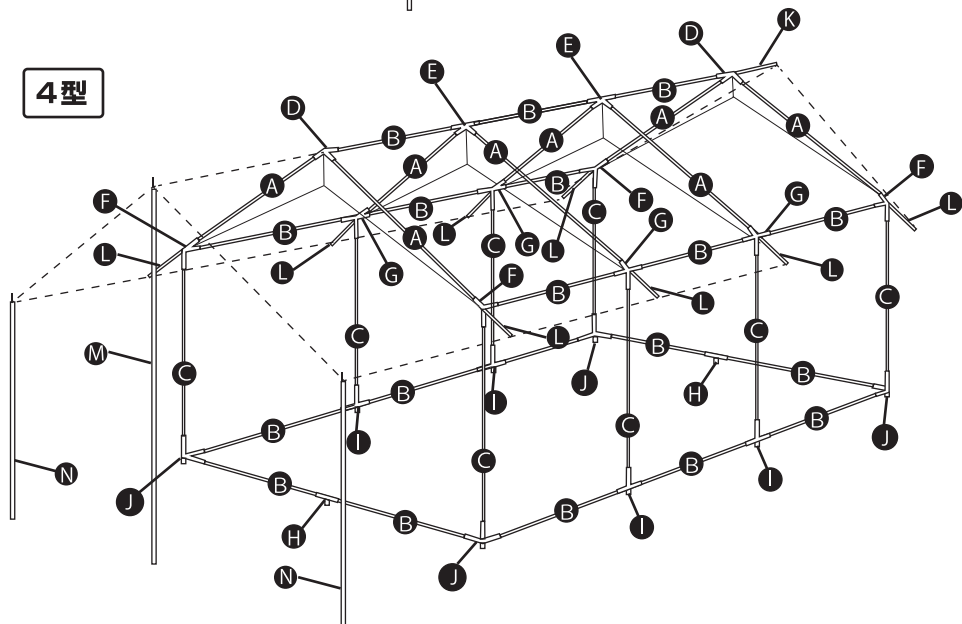


フレーム概念図

2型



4型



2

安全上の注意 必ずお読みください

危険 人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容です。

- 本製品内や本製品の近くでは、絶対に火気を使用しないでください。火災や一酸化炭素中毒の恐れがあります。
- 出入り口や換気パネルを常に開け、換気には充分ご注意ください。

警告 場合により人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。軽傷または物的損害が発生する頻度が高いことが想定される内容です。

- 本製品を設営される際は、周囲の環境や気象条件などを充分考慮し、安全を確認してください。
- 台風や落雷や強風や豪雨などの厳しい自然条件の際は、キャンプ場の管理担当者の指示に従い安全な場所に避難してください。
- 風の影響を受けやすい大型テントのため、設営後に風が強くなりそうな気象情報があれば速やかに撤去してください。
- 河原や河川付近に設営する際は気象条件により突然増水することがあります。設営場所は特に注意してください。
- 本製品の改造や分解などは絶対にしないでください。性能が損なわれ、充分に保護能力が発揮できない恐れがあります。
- 使用前は毎回必ず点検をしてください。老朽化が認められる場合や損傷が認められたり、疑わしい場合は直ちに本製品の使用を中止してください。本来の性能が発揮できない恐れがあります。
- 正しいお手入れ方法、保管方法を守ってください。誤ったお手入れや保管方法を行うと、本来の性能を発揮できない恐れがあります。
- 常設用テントではありません。特に設置状態での夜間の放置はお止めください。

注意 人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容です。

- キャンプ場やキャンプ許可地以外では使用しないでください。
- 設営地はできるだけ平坦地で、危険のない場所を選んでください。
- 本製品は大型テントのため必ず4人以上で設営してください。少人数で設営すると、ポールに無理な負荷がかかり、破損する恐れがあります。
- 使用の際は必ずペグで固定してください。砂地や雪上では状況に応じたペグ等が別途必要です。
- 本製品は太陽光線の紫外線により生地が劣化します。硫黄ガスが発生する温泉地等でも寿命を縮めますのでご注意ください。
- 本製品に慣れるため、実際にフィールドへ出かける前に必ず試し張りを行ってください。
- 各パーツや付属のペグには鋭利な部分があります。取扱いにはご注意ください。
- 小さいお子さまに組立てなどの作業をさせないでください。
- 本製品の組み立て、撤収の際はフレーム等で指等を挟まないよう十分注意してください。ケガの恐れがあります。
- 本製品は重量物です。持ち運びの際はご注意ください。
- 持ち運びの際は引きずらないでください。破損する恐れがあります。

使用前の点検

- ポールやジョイントに亀裂などの破損がないか 生地に破れがないか

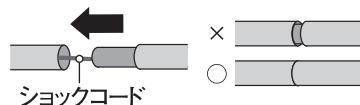
組み立て方法

- ⚠ 大型テントのため、2型、4型共に必ず4人以上で設営してください。特に初めて設営される場合は複数人で行うようにしてください。
- ⚠ 本製品は重量物のため各パーツの接続部分を硬めに設定しています。組み立ての際は指詰め等の怪我を防止するために必ず手袋をはめてください。

3

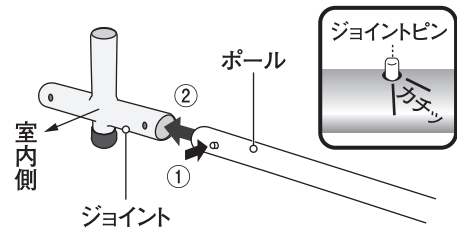
1.各ジョイントパーツとポールの接続方法

ポールは、中に通っているショックコード通りにポールをつなぎ合わせると自然に組み上がります(ポールMとNのみ)。
 ※ショックコードを必要以上に伸ばさないように注意してください。
 ※ポールは奥まで差し込んでください。



ポールをジョイントパーツに接続する場合

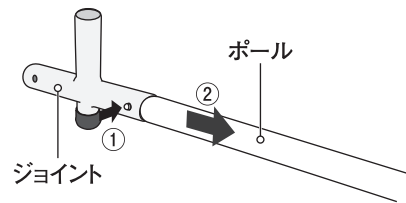
- ①ポールのジョイントピンを押し込みます。
 - ②ジョイントピンを押し込んだまま、ポールをジョイントパーツにカチッと音がするまで差し込みます。
- ※ジョイントピンは、生地に当たらないように必ず室内側に向けて組み立ててください。



※無理に差し込むとポールの塗装がはがれますのでご注意ください。

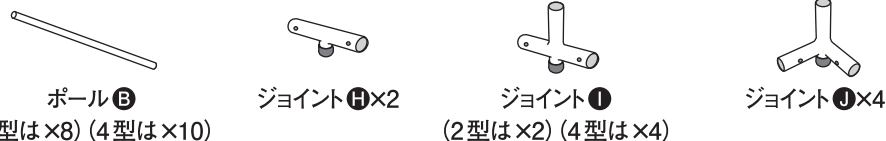
ポールをジョイントパーツから取り外す場合

- ①ポールのジョイントピンを押し込みます。
- ②ジョイントピンを押し込んだまま、ポールをジョイントパーツから引き抜きます。

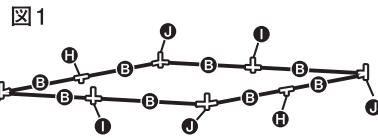


2.フロアの組み立て

必要なパーツ

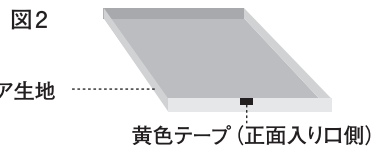


- ①フロア部分のポールを並べます(図1)。※右図は2型



- ②各ジョイント、ポールを接続し「フロアフレーム」の完成です。

- ※ジョイントピンは内側に向けてください。
- ※全ての穴にジョイントピンが入っているかどうかを、必ず確認してください。
- ※ジョイントパーツの黒いキャップ部分が下側になるようにしてください。



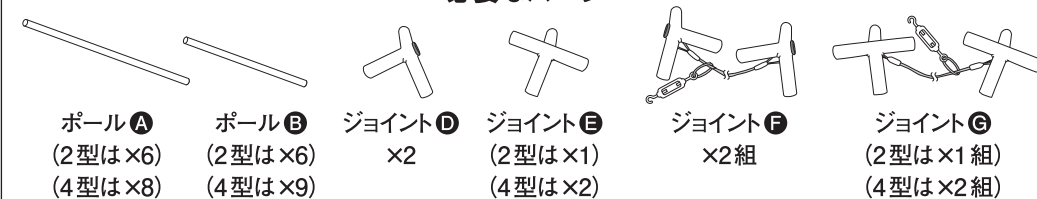
- ③シームテープが貼られている面を上にして、フロアを広げます。その際、正面入り口側に黄色テープが来る様に広げてください(図2)。



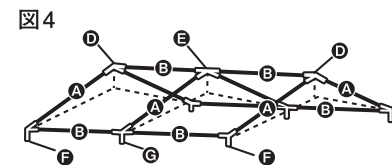
- ④フロアフレームをフロアにのせてください(図3)。
 ※フロア生地を取り付けずに使用することも可能です。

3.屋根フレームの組み立て

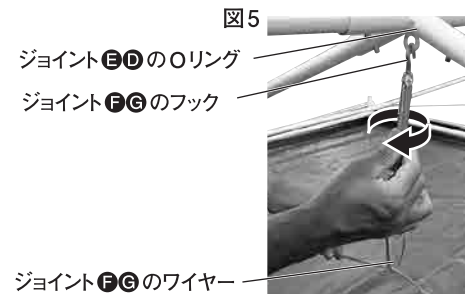
必要なパーツ



- ①先程組み上げたフロアフレームの上に屋根フレームを組み立てます。屋根部分の各ポールを並べます。配置は2ページ目のフレーム概念図を参照してください。組立方法に従ってポールを連結します(図4)。ジョイントの向きにご確認ください。※右図は2型



- ②各ジョイント、ポールの接続を終えた後、ジョイントE(中央)のOリングに、ジョイントG(両端)のフックを掛けます。同様にジョイントD(中央)のOリングに、ジョイントF(両端)のフックを掛けます。ワイヤーにたるみがある場合は、金具を回転させてワイヤーにテンションをかけてください(図5)。



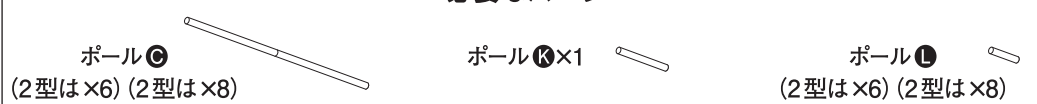
- ③「屋根フレーム」の完成です(図6)。

※全ての穴にラチェットが入っているかどうかを必ず確認してください。入っていないと破損の原因となる恐れがあります。



4. テント本体とフロアの合体

必要なパーツ



- ①正面の庇(ひさし)部分を入口側にし、「屋根フレーム」にテント本体をかぶせます(図7)。その際、入口対面のコーナーのベルクロは全開にしたままにします。



②ポールKを正面入り口の反対側の屋根フレームの頂点部の穴に差し込み、ベルクローで固定して庇(ひさし)をつくります(図8,9)。(1箇所)

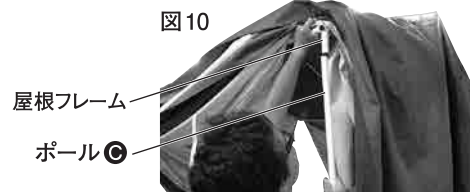


③②と同じ要領でポールLを屋根フレームの穴に差し込み、ベルクローで固定して軒(のき)をつくります。(2型は×6箇所、4型は×8箇所)

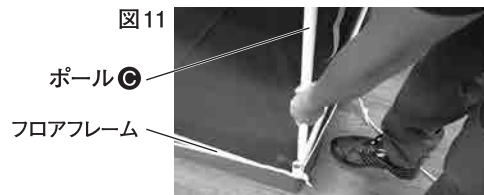


④本体が被さったままの屋根フレームを持ち上げ、柱となるポールCを差し込みます(図10)。この時、必ず四隅を同時に持ち上げて作業してください。

※ポールCにはジョイントピンが付いていませんので、倒れないように注意して根元まで確実に差し込んでください。



⑤続いて④の状態のまま、ポールCを「フロアフレーム」の各ジョイントに差し込みます(図11)。その際、正面入り口側がフロアの黄色テープの上に来る様に注意してください。

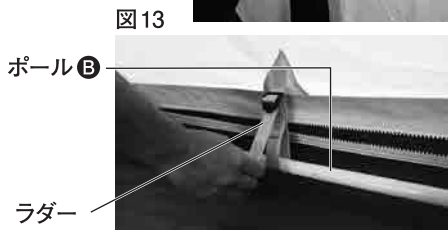
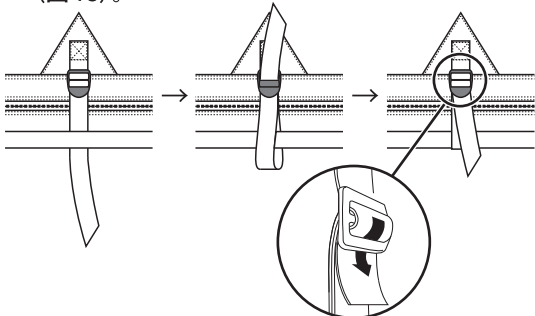


5. テント本体のセット

①入口対面のコーナーのベルクローを、上から下へしっかりと閉じます(図12)。



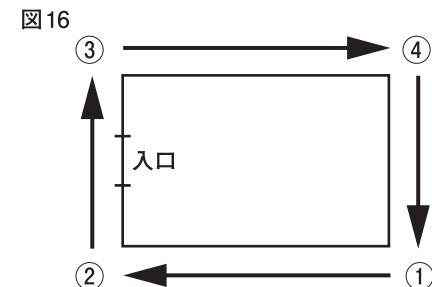
②テント内側のラダーを、ポールBに固定します(図13)。



③テント内側のベルクローを、ポールCに固定します(図14)。



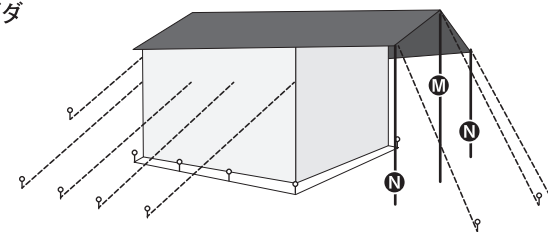
④テント本体とフロア4辺をジッパーでつなげます(図15)。なお、つなげる順番は必ず図の通りにしてください(図16)。



⑤ポールと張り網で庇(ひさし)を作ります。



⑥右図のように付属の張り網を地面にペグダウンします。

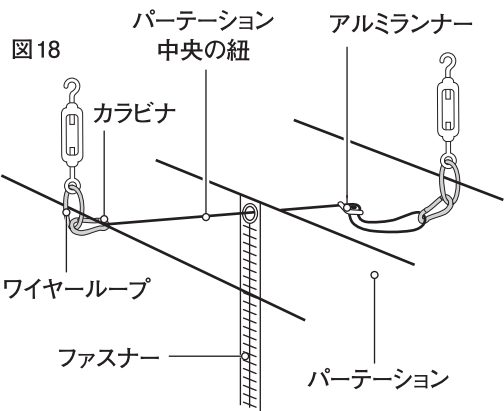
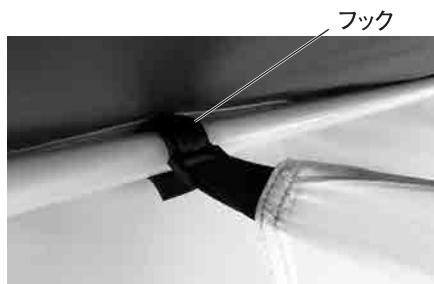


■ 使用方法

パーティションの使用(4型のみ)

①パーティション四隅のフックをフレームに固定します(図17)。「パーティション中央の紐」のカラビナを、「屋根フレーム」のワイヤーループに掛け、アルミランナーで調節してテンションをかけます(図18)。なお、パーティションはパーティション中央の紐の間であれば任意の場所に移動させることができます。

図17



窓の開閉

①窓は巻きあげることで、オープン、クローズ、メッシュ、透明窓の4タイプを選べます(図19)。透明窓は、全周がジッパーで接続されているため、不要なときは取り外すことができます(図20)。

※入口に透明窓はありません。

図19



図20



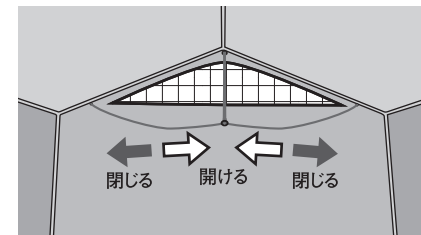
②窓はアルミタープポール165や150(別売)と張り綱(別売)、ペグ(別売)を使用して、ひさしを作ることができます(図21)。

図21



ベンチレーターの開閉

フィールドキャビン前後2カ所の上にはベンチレーターを設けています。右図の向きにコードを引くことで開閉を行うことができます。



配線用の穴(開閉式)

本製品のコーナー2カ所に開閉式の穴を設けています(右図)。この穴は電灯の配線などを通すためのものです。必要に応じてご利用ください。



■ 撤収方法

撤収は組み立て方法と逆の手順で行ってください。

MEMO

MEMO